

2015.12.8

**2016年3月期  
第2四半期  
決算説明会**

CODE : 4275

 **カーリットホールディングス株式会社**

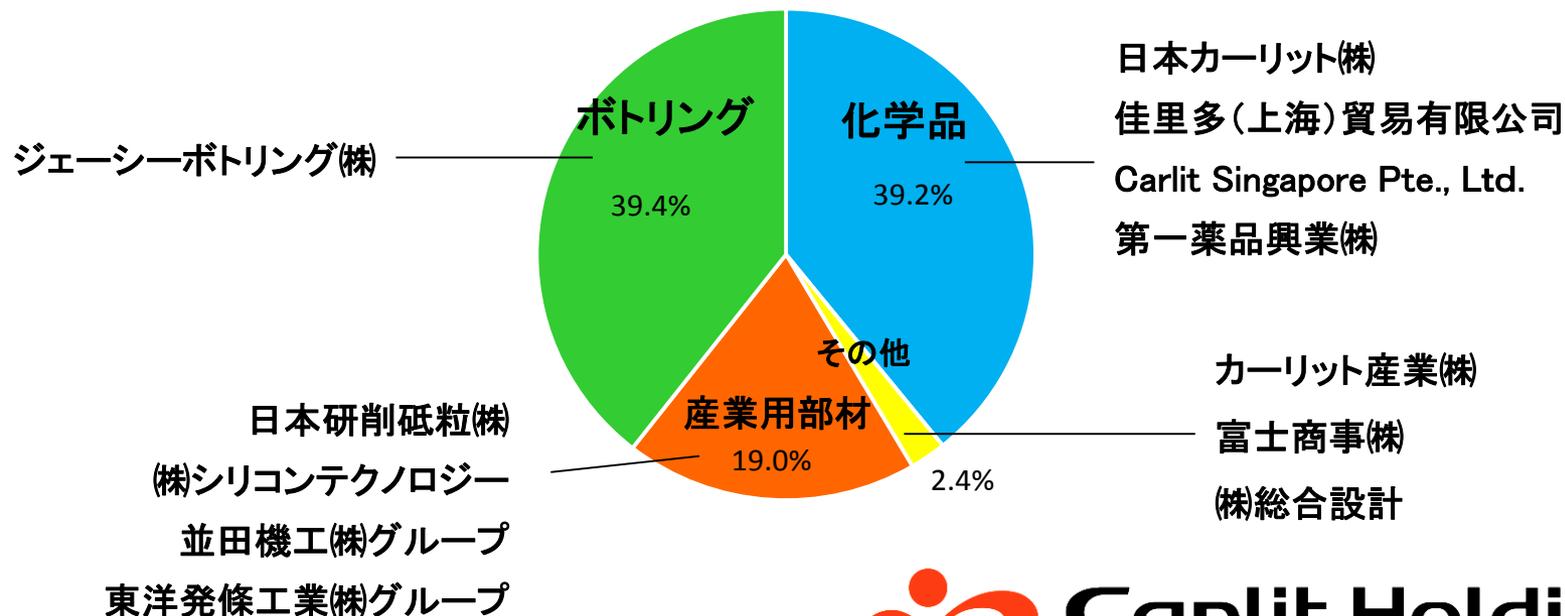
<http://www.carlithd.co.jp>

# 会社概要

本 社	東京都中央区京橋一丁目17番10号	代表者	代表取締役会長兼社長 出口 和男
創 業	1918年	設 立	2013年10月1日
資本金	2,099,530,000円	従業員数	連結 937名
発行済株式数	24,050,000株 (1単元100株)	単元株主数	21,014名

(2015年9月30日時点)

## <2016年3月期 第2四半期 売上構成比>



**2016年3月期 第2四半期**

**決算概要**



5月15日

株式給付信託(BBT)の導入

8月7日

水力発電所の更新



9月30日

スタッド事業の譲受



4月

5月

6月

7月

8月

9月

6月8日

決算説明会

7月6日

新株式発行及び株式売り出し  
サーモグラフィー用材料分野へ参入



8月10日

発炎筒の日に制定

	2015年3月期 第2四半期実績	2016年3月期 第2四半期実績	前年同期 差異	前年同期比
<b>売上高</b>	<b>22,219</b>	<b>22,658</b>	<b>+ 438</b>	<b>+ 2.0%</b>
売上原価	19,192	19,380	+ 187	+ 1.0%
	86.4%	85.5%	△ 0.9pt	
販売費及び一般管理費	2,812	2,840	+27	+ 1.0%
	12.7%	12.5%	△ 0.2pt	
<b>営業利益</b>	<b>213</b>	<b>437</b>	<b>+ 223</b>	<b>+ 104.6%</b>
率	1.0%	1.9%	+ 0.9pt	
<b>経常利益</b>	<b>254</b>	<b>479</b>	<b>+ 224</b>	<b>+ 88.1%</b>
率	1.1%	2.1%	+ 1.0pt	
<b>純利益</b>	<b>283</b>	<b>266</b>	<b>△ 17</b>	<b>△ 6.1%</b>
率	1.3%	1.2%	△ 0.1pt	

売上高…日本カーリット・佳里多上海が増収。

ジェーシーボトリング、一部取引先の会計処理変更により減収。

損益…営業利益・経常利益は増益。純利益は固定資産売却益を計上した前年同期に比べ減益。

# 決算概要

## <セグメント別>

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	差異	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	差異
化学品	8,022	8,876	+ 853 + 10.6%	64	248	+ 184 + 286.3%
ボトリング	9,333	8,936	△397 △ 4.3%	△ 83	108	+ 192 —
産業用部材	4,481	4,310	△171 △ 3.8%	232	39	△193 △ 83.1%
報告セグメント計	21,837	22,123	+ 285 + 1.3%	213	396	+ 183 + 85.7%
連結合計	22,219	22,658	+ 438 + 2.0%	213	437	+ 223 + 104.6%

化学品…電池試験・過塩素酸アンモニウム増販により増収増益。

ボトリング…一部取引先の会計処理変更により減収。自社工場生産品(緑茶)の販売増により増益。

産業用部材…中国の市況悪化により減収減益。

# 決算概要

## <貸借対照表>

(単位:百万円)

	2015年 3月31日	2015年 9月30日	差異		2015年 3月31日	2015年 9月30日	差異
<b>資産の部</b>				<b>負債の部</b>			
現金及び預金	2,888	4,571	+1,683	支払手形及び買掛金	5,774	5,158	△ 615
受取手形及び売掛金	9,976	9,156	△ 819	長短借入金	9,776	9,580	△ 195
棚卸資産	3,932	3,969	+37	その他負債	8,824	8,220	△ 604
その他流動資産	1,434	1,438	+3	<b>負債合計</b>	<b>24,374</b>	<b>22,958</b>	<b>△ 1,415</b>
有形固定資産	18,574	18,223	△ 350	<b>純資産の部</b>			
無形固定資産	754	654	△ 99	株主資本	17,765	19,619	+1,853
投資その他	7,439	7,477	+38	その他の包括利益 累計額等	2,858	2,913	+55
				<b>純資産合計</b>	<b>20,624</b>	<b>22,533</b>	<b>+ 1,909</b>
<b>資産合計</b>	<b>44,999</b>	<b>45,492</b>	<b>+ 493</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>44,999</b>	<b>45,492</b>	<b>+ 493</b>

新株式発行により17億89百万円を調達し、うち8億94百万円を資本金に充て、新資本金20億9,953万円となり、自己資本比率は前期末の45.8%から49.5%となる

# 決算概要

## <キャッシュフロー計算書>

(単位:百万円)

	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期
営業活動による キャッシュ・フロー	577	776
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 776	△ 345
財務活動による キャッシュ・フロー	322	1,248
現金及び現金 同等物の増減額	114	1,683
現金及び現金 同等物の期首残高	3,341	2,886
現金及び現金 同等物の四半期末残高	3,456	4,569

償却前利益	1,413
運転資金等	△373
法人税等の支払い	△572
法人税等の還付	308

固定資産の 取得による支出	△432
------------------	------

株式の 発行による収入	1,789
----------------	-------

**2016年3月期**

**業 績 予 想**



(単位:百万円)

	2016年3月期 第2四半期実績	2016年3月期 通期予想	進捗状況	
			差異	進捗率
売上高	22,658	47,000	△24,341	48.2%
営業利益	437	1,300	△862	33.7%
	率	1.9%	2.8%	
経常利益	479	1,400	△920	34.2%
	率	2.1%	3.0%	
純利益	266	800	△533	33.3%
	率	1.2%	1.7%	

## 業績予想

## ＜セグメント別予想＞

(単位:百万円)

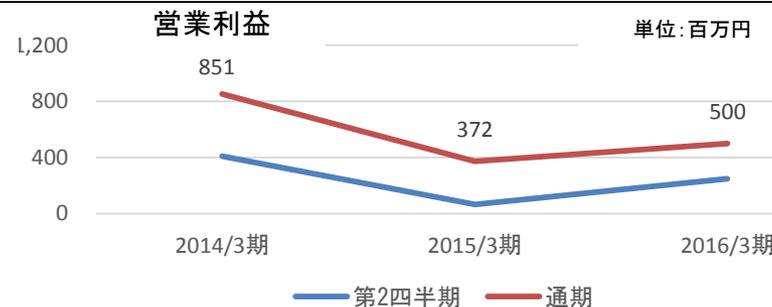
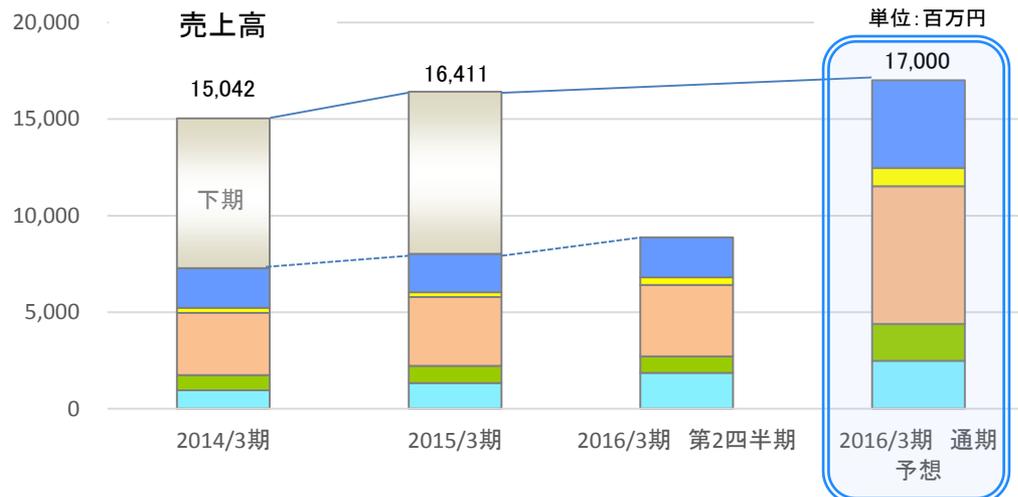
	売上高				営業利益			
	2016年3月期		差異(進捗率)	2016年3月期		差異(進捗率)		
	第2四半期実績	通期予想		第2四半期実績	通期予想			
化学品	8,876	17,000	△ 8,123	52.2%	248	500	△ 251	49.7%
ボトリング	8,936	17,000	△ 8,063	52.6%	108	300	△ 191	36.3%
産業用部材	4,310	10,000	△ 5,689	43.1%	39	400	△ 360	9.9%
報告セグメント計	22,123	44,000	△ 21,876	50.3%	396	1,200	△ 803	33.1%
連結合計	22,658	47,000	△ 24,341	48.2%	437	1,300	△ 862	33.7%

# セグメント別

## <化学品事業>

### 今後の展望

- ・ロケットの打ち上げ増加見込  
→過塩素酸アンモニウム需要増
- ・上海  
→塩素酸ナトリウム・尿素大幅増販



### 化薬分野

➡ 産業用爆薬…土木事業での需要増

➡ 信号用火工品(発炎筒関連)…新車販売台数減少により減販。新商品販売開始は12月末予定

### 受託評価分野

➡ 危険性評価試験…特別試験受注増

➡ 電池試験…リチウムイオン二次電池の需要増により試験受託堅調

### 化成品分野

➡ 塩素酸ナトリウム…為替の影響による価格競争力低下により減販

➡ 過塩素酸アンモニウム…ロケット打ち上げ本数増加

➡ 過塩素酸…輸出の安定により大幅増販

### 電子材料分野

➡ 機能性高分子コンデンサ向けピロール関連製品…顧客の生産拠点統合

➡ 電気二重層キャパシタ用電解液・アルミ電解コンデンサ向け材料…海外向け需要増

### その他

➡ 佳里多上海…塩素酸ナトリウム・尿素大幅増販



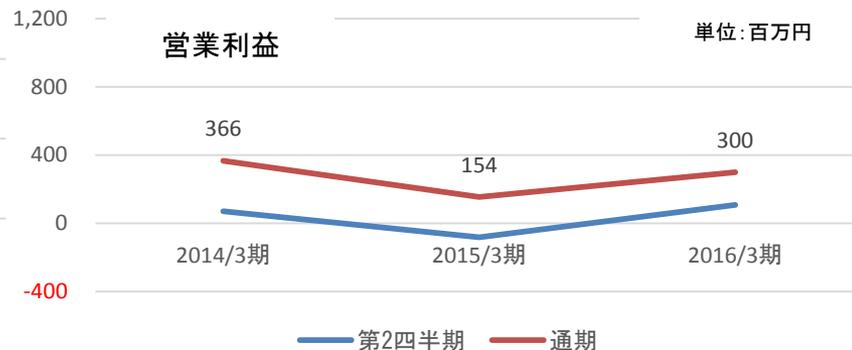
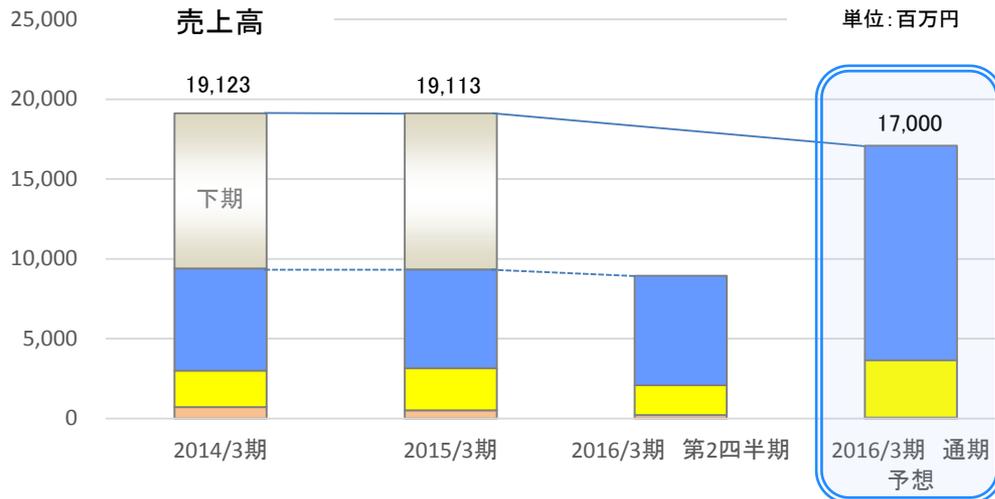
発炎筒

# セグメント別

## <ボトリング事業>

### 今後の展望

- ・缶コーヒーの新商品受注開始
- ・ボイラーの省エネルギー化によりコスト低減



### 自社工場生産品

ペットボトル

缶

### 委託生産品

- ➡ 売上…減収
  - 一部取引先会計処理変更の影響
- ➡ 利益…増益
  - 自社工場生産品の受注増
  - 稼働率向上
  - コスト削減



主要商品



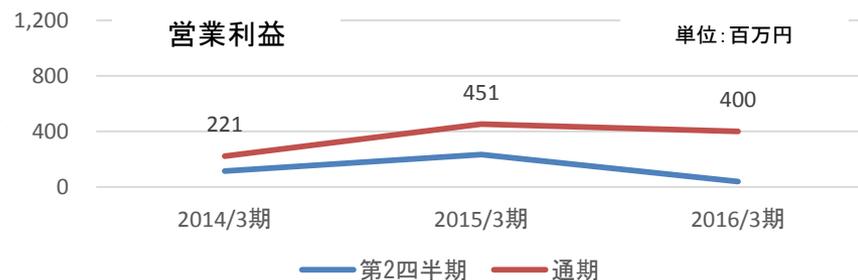
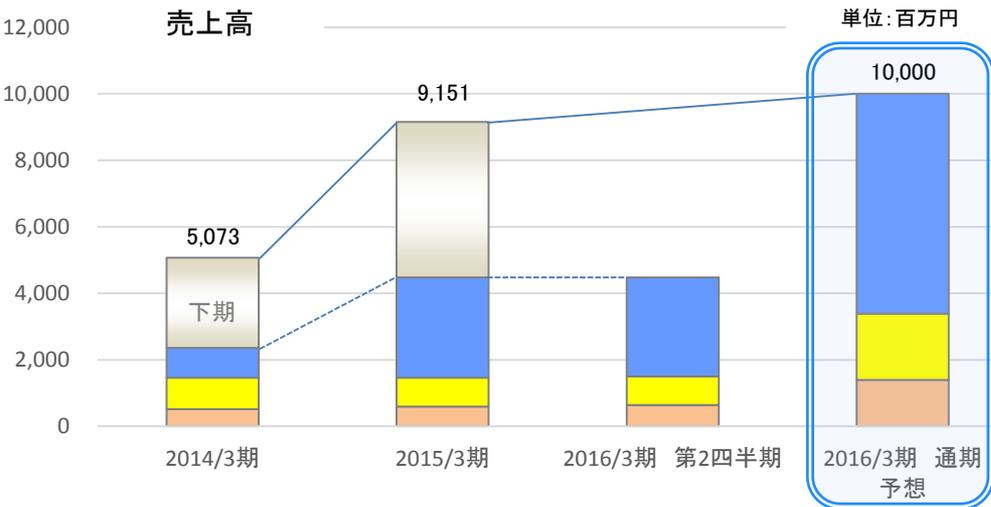
最新鋭の温水無菌充填システム

# セグメント別

## <産業用部材事業>

### 今後の展望

- ・スタッド事業へ参入
- ・レンズ材料、リテーナ新商品を開発



### 金属加工分野

- ➡ 並田機工…震災需要が一段落するが、新規事業と海外展開を積極的に推進
- ➡ 東洋発條…中国の市況悪化に伴う建機向け販売不振のため、減収減益

### シリコンウェーハ分野

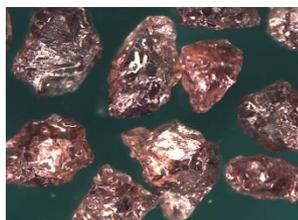
- ➡ 増販を計画したものの、半導体市況悪化により減収減益

### 研削材分野

- ➡ 円安による原価の上昇を増販で補う



シリコンウェーハ



研削砥石原料



アンカーメタル(耐熱炉内金物)



平座金

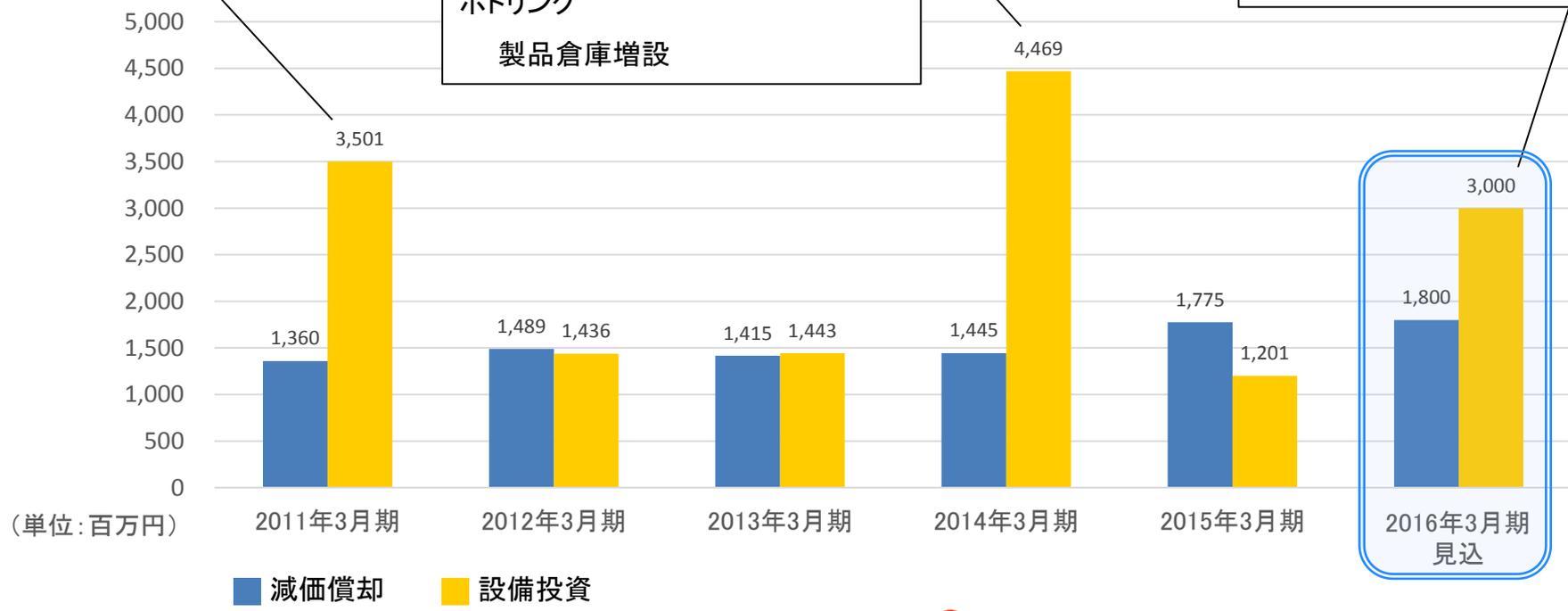
# 決算概要

## <設備投資・減価償却費>

化学品  
過塩素酸製造設備  
ボトリング  
温水無菌充填システム

化学品  
過塩素酸製造設備  
電池試験所新設  
太陽光発電システム  
高齢者用マンション(賃貸設備)  
ボトリング  
製品倉庫増設

化学品  
信号炎管製造設備  
推進薬原料増産設備  
産業用部材  
新会社(アジア技研)設立  
海外展開  
新商品・新規事業開発



新中期経営計画

「礎 100」

次の100年へ

浅野総一郎により  
創業開始

1918年

現在  
2015年

創業100周年  
2018年

10年以内

中長期目標（目指す姿）

2024年度までに  
売上高1000億円企業となる

テーマ

- ①2018年の創業100周年を迎え、更に次の100年企業の礎となる事業基盤の確立
- ②グループ中長期目標（売上高1000億円）到達への道のりを確固たるものにする

「礎 100」

＜数値目標達成に向けての施策＞

売上高

650億円

営業利益率

5%

営業利益

35億円

設備投資計画

200億円（4年間合計）

成長  
基盤強化

収益  
基盤強化

グループ経営  
基盤強化

研究開発

（  
ロケット用推進薬  
レンズ材料  
機能性フィルム  
）

スタッド事業参入

海外事業展開

M&A

設備増強

（  
過塩素酸アンモニウム  
信号炎管、電池試験  
）

水力発電所更新

コーポレートガバナンス  
コード策定

組織再編

### 成長基盤強化

新商品・  
新規事業創出

海外市場開拓・  
海外生産拠点

並田機工  
ベトナム生産拠点設立

### 新会社概要

設 立 日	2016年春(予定)
工場所在地	ドンナイ省ロンタン地区 ロンドウック工業団地
工場面積	約1,000㎡
設備投資	約2億円(予定)
生 産 品 目	耐火・耐熱金物(アンカー)

### 事業計画(予定)

2016年 7月	工場完成
10月	操業開始
2021年	売上計画 5億円



工場外観(イメージ)



アンカー施工(イメージ)

2015年

2016年

2017年

2018年

2019年

高エネルギー分野

ロケット用推進薬

基礎開発

実用化開発

実用化

環境エネルギー分野

電池材料

基礎開発

実用化開発

実用化

2015年

2016年

2017年

2018年

2019年

ライフサイエンス分野

化粧品原料  
食品添加物

基礎開発

実用化開発

実用化

ラインアップ

新材料分野

遠赤外線カメラ用  
レンズ材料

高透過率シリコン  
開発済

実用化

新材料開発

ラインアップ

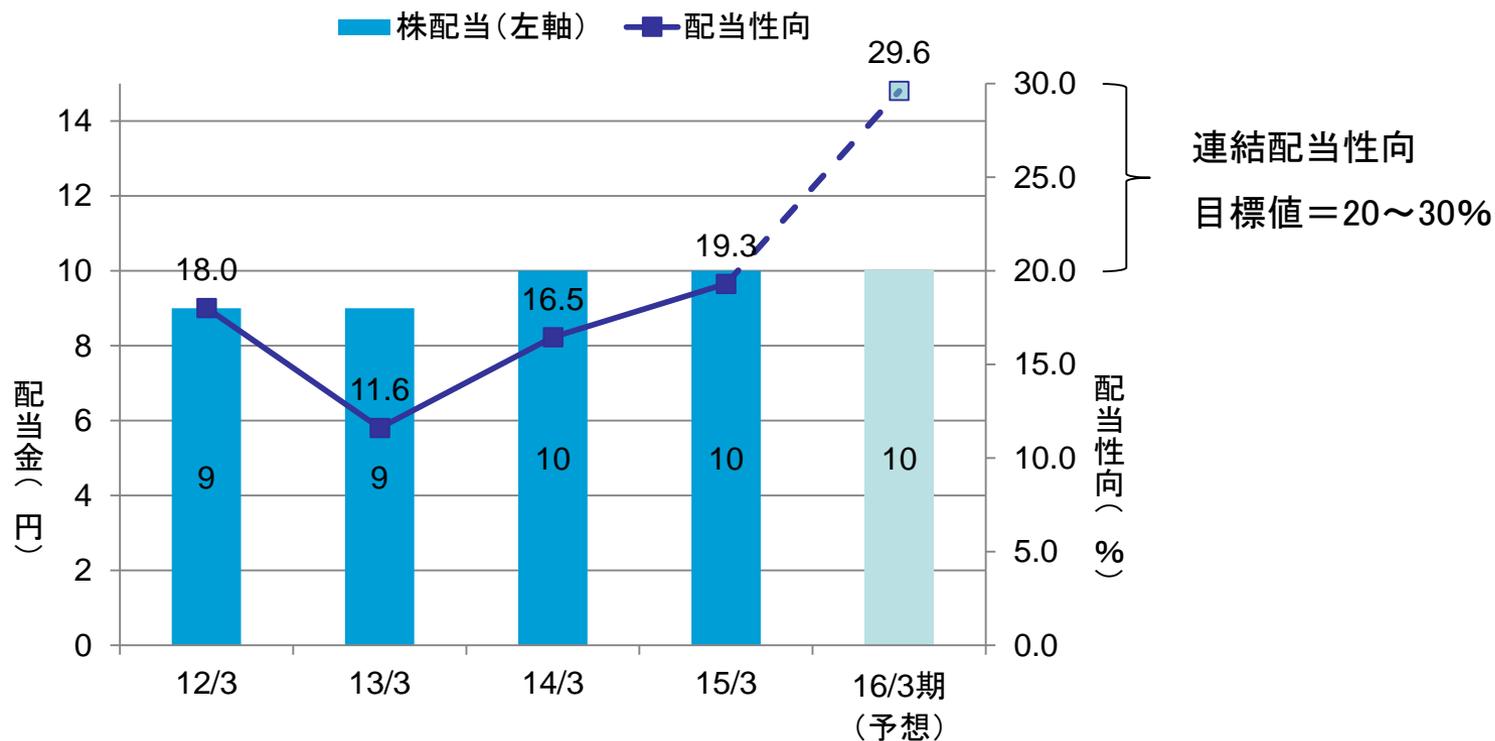
手入カタブレット端末用  
機能性フィルム

開発済

実用化

市場拡大

- ・経営環境、業績、将来の事業展開を総合的に勘案して利益配分を実施
- ・内部留保金については、経営基盤の強化、研究開発等に有効活用



コーポレートガバナンス報告書提出

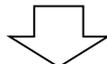


全73の原則中67の原則をコンプライ

### 今後の取組

#### 【原則4-2 取締役会の役割・責務(2)】

「(前略)経営陣の報酬について、中長期的な会社の業績や潜在的リスクを反映させ、健全な企業家精神の発揮に資するようなインセンティブ付けを行うべきである。」



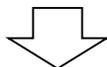
業績連動型株式報酬制度(BBT)導入

→取締役の賞与を従来の金銭支給を廃止し、株式で給付する制度

→全体で年間6,000万円を上限に、年度の業績に応じて支給

#### 【原則4-8 独立社外取締役の有効な活用】

「独立社外取締役を2名以上選任すべきである。」

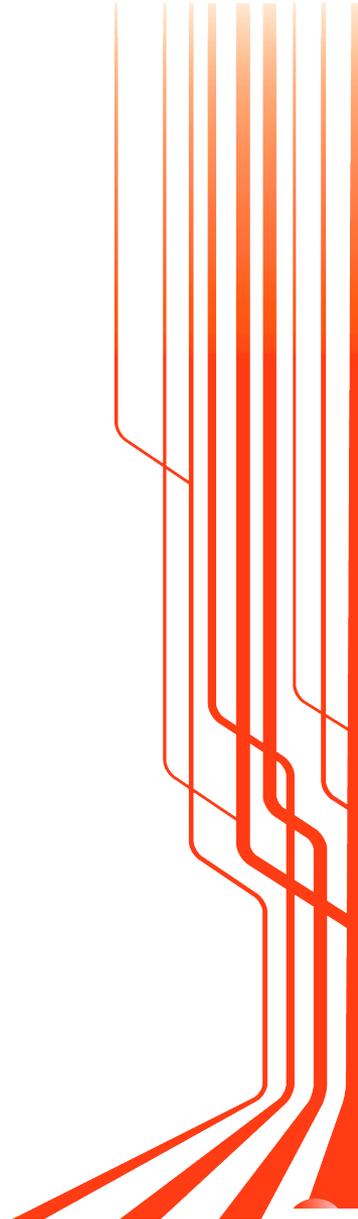


監査等委員会設置会社等への移行も視野に検討



**Carlit  
Holdings**

**信頼と限りなき挑戦**



IRに関するお問合せ先：  
カーリットホールディングス株式会社  
広報部

電話：03-6893-7060  
メール：[pr@carlit.co.jp](mailto:pr@carlit.co.jp)

本資料は当社の事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は決算データ・会社データについては断りのない場合は2015年9月30日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された見通し等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

# <用語集>

	用 語	意 味 ・ 用 途
あ	アンカー	煙突などの耐火物を保持・固定する耐熱炉内金物。
	浅野総一郎	当社事業の創業者。スウェーデンカーリット社からカーリット爆薬の極東における製造特許を取得し、その研究開発に着手。京浜工業地帯の開発に寄与した。
	アルミ電解コンデンサ	電極にアルミニウムを使用するコンデンサ。エアコン・冷蔵庫・自動車・太陽電池の電源回路などに使用。
か	過塩素酸アンモニウム	H2ロケット等に使用される固体推進薬原料。
	危険性評価試験	製品に対してどのような現象が起こった際に危険性が発現するかを確かめる試験。
	機能性高分子コンデンサ	電極の陰極に導電性高分子を使用したコンデンサ。 高周波特性、低ESR(等価直列抵抗)に優れ、デジタル機器に使用。
	コンデンサ	エネルギーの化学反応なしに電気を電気のまま充放電することが可能な蓄電デバイス。
さ	座金	ボルトとナットを締め付ける際、ナットの下に挟み込むことでゆりみ防止やボルト面の座面陥没を防止する。
	シリコンウェーハ	シリコンのインゴットを薄く切断した物。集積回路などに使用。
	信号炎管	高速道路や鉄道において非常事態が発生した際、赤色火炎によって異常を知らせるもの。
	スタッド溶接	アーク(火花)によって母材とボルトを溶接する方法。
た	電解液	イオン導電性を有する溶液。コンデンサ・リチウム電池・二重層キャパシタなどに使用。
	電気二重層キャパシタ	蓄電デバイス的一种であり、急速充放電が可能な点が特徴。
	電池試験	二次電池の充放電を繰り返し、耐久性等を検証する試験。
は	発炎筒	道路や線路における異常・危険発生時に、炎を発生し周囲にそれを感知させる物。
	ピロール	機能性高分子コンデンサの陰極に使用される素原料。
ら	リテーナ	集塵機に使用される耐熱金物。これにろ布を被せ、バグフィルターとして使用。